

秋葉区児童館設置に伴う区民向けワークショップ(概要)

(2025年11月24日 @新津健康センター)

●参加者からの主な意見

- ・毎週の休館日は不要ではないか。
- ・21、22時まで利用できるようにしてはどうか。
- ・保護者にもアンケートが必要ではないか。
- ・秋葉区総合体育館と提携して、運動スペースを考えてほしい。
- ・中学校区に1つずつ設置できないか。
- ・吹き抜けを利用してアスレチックを作ってはどうか。
- ・事務を行う場所はどうするか。
- ・区民向けの意見を聞く機会を今後予定しているか。
- ・一般市民へのアンケートを今後、予定しているか。
- ・健康センターの短所と思われているところを今一度整理してもらいたい。

●ワークショップ(主な意見)

どんなこども・家族が どんなときに、(誰と) どんな風に使うか	なにがあるとよいのか(モ ノ)	どんなことがあるとよい のか	
<ul style="list-style-type: none">・居場所・つながりを必要としているこども・学校・制度の変化によって時間や居場所がなくなっているこども・多様性・インクルーシブな配慮が必要なこども・家庭の事情により支援や柔軟な場が必要なこども・家族	<ul style="list-style-type: none">・友達と／グループで集まる場所として・一人でも安心して過ごせる場所として・体を思いきり動かす場所として・学習・勉強・支援の場として・親子・保護者の居場所・交流の場として・日常のすきま時間・長期休暇の受け皿として	<ul style="list-style-type: none">・運動・身体を動かす設備・音楽・表現活動の場・遊び・遊び(室内活動)・創作・ものづくり・くつろぎ・安心空間・乳幼児・配慮空間・生活・利便設備・心と相談の場・食・つながり・デジタル・情報支援	<ul style="list-style-type: none">・安全・安心の仕組み・こども主体の運営・創作・ものづくり・表現・食・調理・共有の場・学び・知識・相談・交流・イベント・居場所・コミュニケーション・自然・屋外活動・運営体制・人の力

●まとめ

誰もが安心して来られる居場所として、遊ぶ・学ぶ・つながる機能を備え、こどもが主役となって活動し、地域と関わりながら成長できるような児童館を目指す。